

(宮崎県商工会議所連合会共同事業)

宮崎県内企業景況調査報告書

2017年1月～3月期

第84回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事:宮崎商工会議所)

目 次

1. 実施概要
2. 調査結果(DIの推移)
3. 概況
4. 県内の景気動向
 - (1)前期比 前期比(平成28年10月～12月比)
 - (2)前年同期比 前年同期比(平成28年1月～3月比)
 - (3)来期見通し 来期見通し(平成29年4月～6月見通し)
5. 業種別の景気動向
 - (1)製造業
 - (2)建設業
 - (3)卸売業
 - (4)小売業
 - (5)サービス業(飲食関連・観光関連を含む)
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

1. 実施概要

(1)回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	129社
回答率	25.8%

(業種別)

製造業	43社
建設業	24社
卸売業	13社
小売業	25社
サービス業	24社
合計	129社

(2)実施時期

2017年1月～3月期

(3)調査内容

調査対象1四半期について前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

(4)調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

(5)調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答をFAX等で返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所経営指導部が集約して、集計分析を行った。

2. 調査結果(DI)

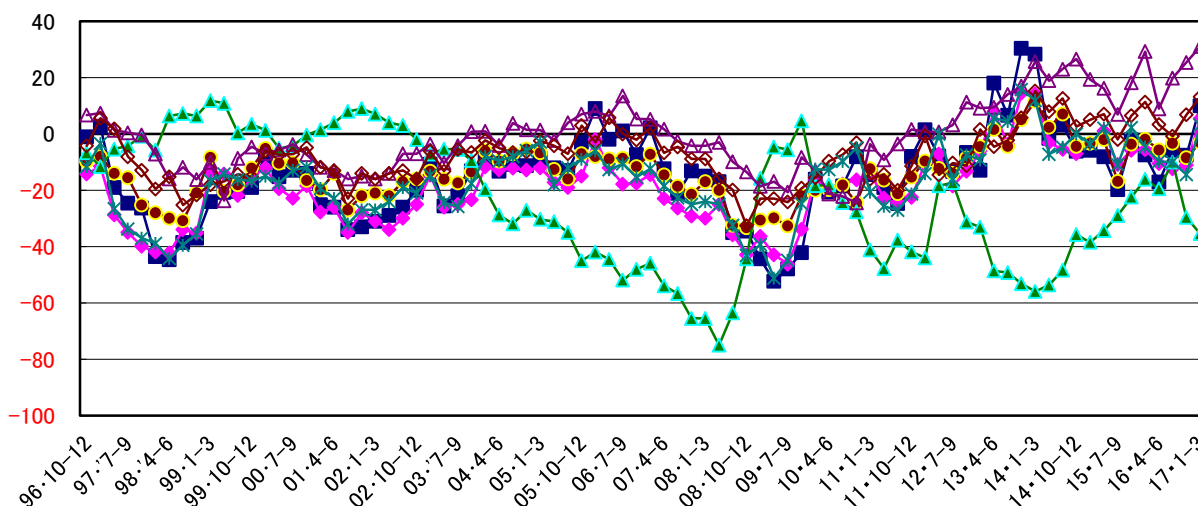
DIとは(景況判断指数)とは

DIは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりという意味します。

売上DI = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)
 採算DI = (好転 ") - (悪化 ")
 資金繰りDI = (好転 ") - (悪化 ")
 仕入価格DI = (下落 ") - (上昇 ")
 雇用状況DI = (不足 ") - (過剰 ")
 設備投資DI = (拡大 ") - (減少 ")
 業況DI = (好転 ") - (悪化 ")

前年同期比(全企業DIの推移)



		13・4-6	13・7-9	13・10-12	14・1-3	14・4-6	14・7-9	14・10-12	15・1-3	15・4-6	15・7-9	15・10-12	16・1-3	16・4-6	16・7-9	16・10-12	17・1-3
■	売上	18.1	6.6	30.4	28.3	-1.6	3.2	-6.1	-5.9	-8.1	-19.8	-2.2	-7.48	-17.07	-5.79	-5.79	10.00
◆	採算	7.9	-3.7	14.5	14.2	-3.2	-5.5	-7.1	-3.4	1.0	-10.9	-5.8	-5.61	-10.57	-12.40	-12.40	5.38
●	資金繰り	1.6	-4.4	5.0	11.6	2.4	7.1	-4.4	-3.4	-2.0	-16.8	-3.6	-1.87	-5.74	-3.31	-3.31	-3.08
▲	仕入価格	-48.6	-49.3	-53.2	-56.0	-53.6	-48.4	-35.7	-38.5	-34.3	-29.0	-22.5	-16.04	-19.51	-10.00	-10.00	-35.43
△	雇用状況	9.4	14.1	17.0	25.7	18.9	23.0	26.6	19.3	16.2	6.9	18.1	29.25	8.94	19.83	19.83	31.01
◇	設備投資	-4.5	-2.2	5.7	15.2	7.9	12.6	2.7	5.0	7.1	-2.0	6.5	11.32	3.28	-0.83	-0.83	13.18
*	業況	5.5	4.5	15.8	11.8	-7.2	-4.8	0.0	-3.5	2.0	-11.0	2.2	-4.67	-9.76	-10.00	-10.00	3.08

3. 概況

人材確保に苦戦する中小企業

(1) 今期の特徴

前期比としては、年度末工事があった建設業が好転をみせたが、逆に年末商戦の終わった小売・卸売・サービス業が厳しい数値であった。

前年同期比では、卸売業で悪化してはいるものの、他の業種ではおおむね回復をみせている。中でも東九州自動車道の効果を実感できているサービス業、逆にネット通販との競争で影響を受けている小売業の不振が目立っている。

また、企業の人手不足は深刻化しており、全ての業種及び時期において、強い人手不足感を示す数字が表れている。さらに、仕入価格の増加等が収益を圧迫していると回答した企業も随所に見られた。

(2) 来期の見通し

各項目の来期見通しDI値は前回調査とほぼ同じ数値を示している。業種別では、年度初めに当たる建設業が悪化予想だが、逆に新年度入りで卸売・サービス業が期待感をみせている。DI値自体は回復見通しの小売業であるが、ネットとの競争でDI値はマイナスのまま。

夏物商品の売出しや外国人観光客による需要増を期待する声も聞かれる一方、人出不足や仕入値上昇による利益圧迫を懸念する企業もあった。

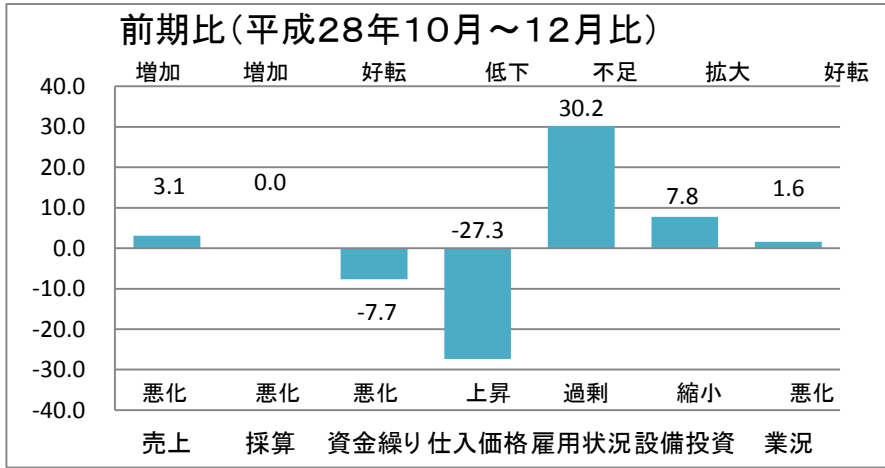
(3) 経営上の問題点

1位「需要の停滞」、2位「従業員の不足」、3位「熟練技術者(従業者)の不足」となり、前期と全く同じ順位となった。引き続き、人口減少に伴う労働者の確保が根強い課題となっている。

(4) 今後の対応策

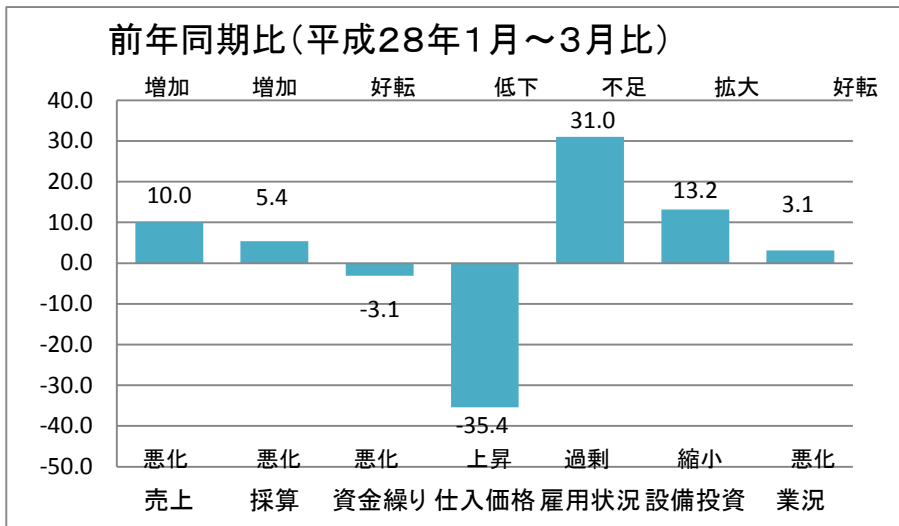
1位の「新規市場を開拓したい」、2位「その他の合理化を実施したい」、3位「新製品の開発を行いたい」と、全て前回同様の結果となった。

4. 県内の景気動向(全業種)



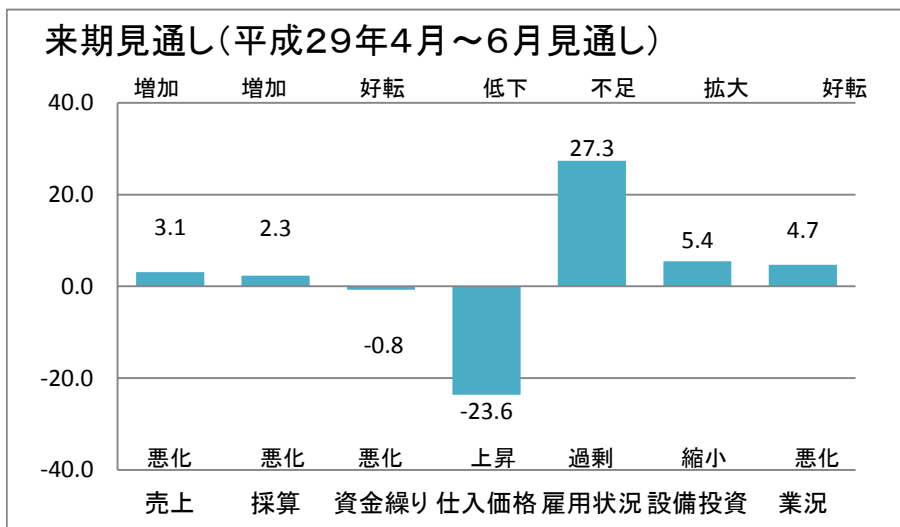
前回調査と比べて、年度末の公共工事があった建設業が好転をみせたが、年末商戦の反動で小売・卸売・サービス業が厳しく、全業種DIでは売上が18.9ポイント悪化が目立った。

一方では、雇用状況DIについては、引き続き人手不足の深刻化が進んでいる。



前回調査と比べて、売上が17.6ポイント、採算が16.4ポイント、175.ポイントそれぞれ改善している。

業種毎で見ると、卸売業で悪化しているものの、他の業種ではおおむね回復をみせた。中でもサービス業では東九州自動車道路開通の効果があらわれている一方、ネット通販との競争で小売業がDI値マイナスのままと本格的な回復には至っていない模様。

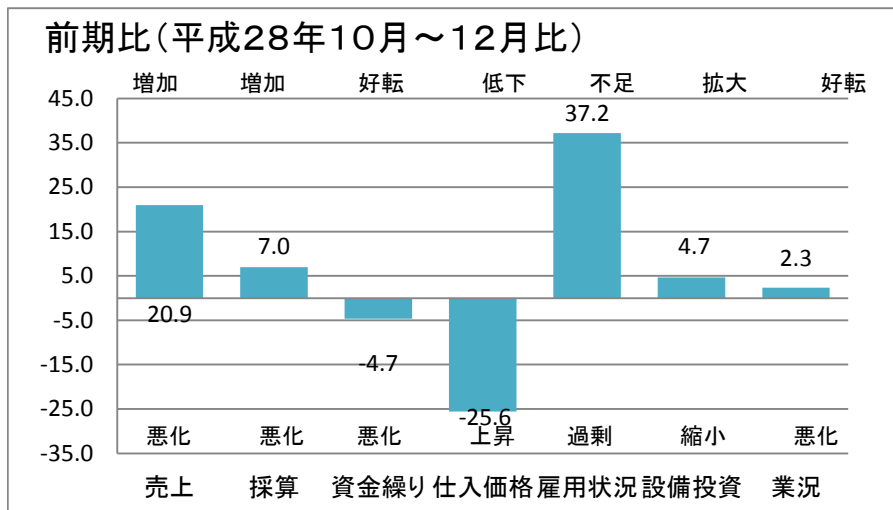


前回調査と比べて、全業種の各DI値はほぼ変わらず。年度初めにあたる建設業が悪化予想だが、新年度入りで卸売・サービス業が期待感をみせる。ここでもネットとの競争激しい小売業の売上DIが厳しい。

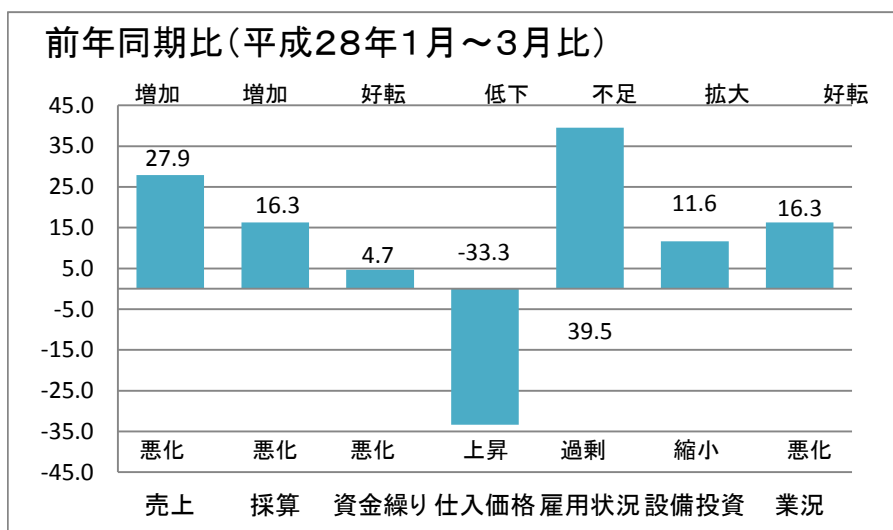
夏物商品の売出し効果や外国人観光客による需要増等を見込む声聞かれる一方、人手不足感や仕入値上昇による利益圧迫を懸念している企業もあった。

5. 業種別の景気動向

(1) 製造業

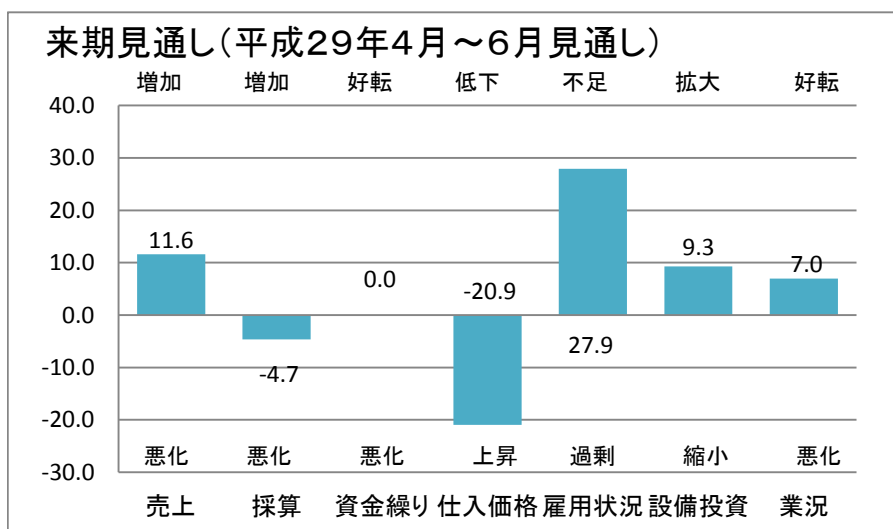


前回調査時と比べて、採算・資金繰り・業況が若干の悪化をみせるも、売上・仕入価格・雇用状況のDI値はほぼ不変であった。



前回調査時と比べて、売上が32.9ポイント、採算が18.8ポイント、業況が26.3ポイントの大幅な改善がみられた。「公共工事の受注が増え、売上が伸びた」との声がいくつか聞かれた。

仕入価格だけがマイナスのDI値を示し、厳しい状況が続いている。

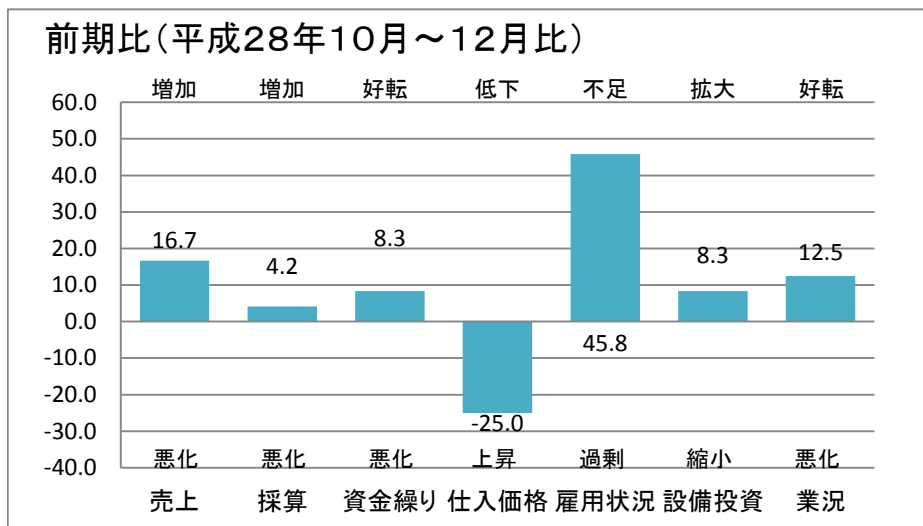


前回調査時に比べ、DI値はほぼ不変の数値であった。

「夏物商品の増産」「業務の合理化」「新商品の需要増」等の期待感からか、DI値はプラスの数値を示している。

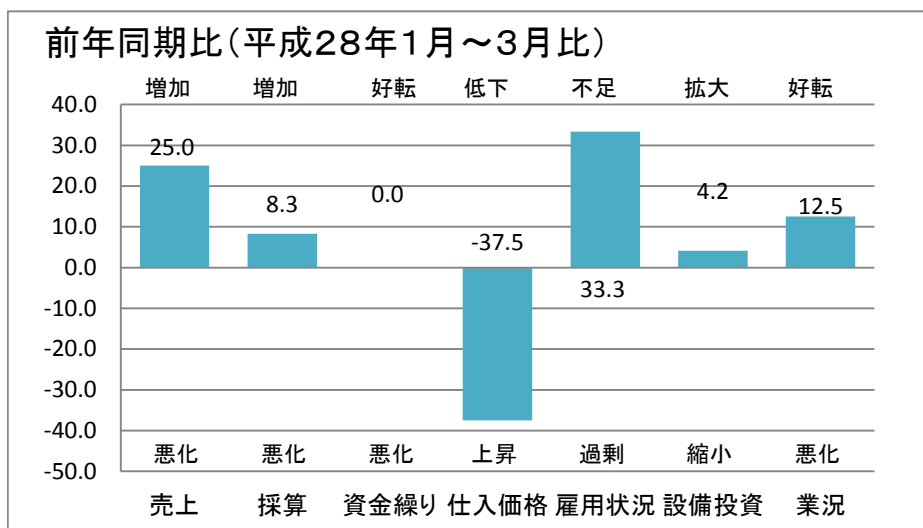
5. 業種別の景気動向

(2) 建設業



前回調査に比べ、仕入価格を除く全てのDI値が、プラスに転じるなど大きく改善を示した。

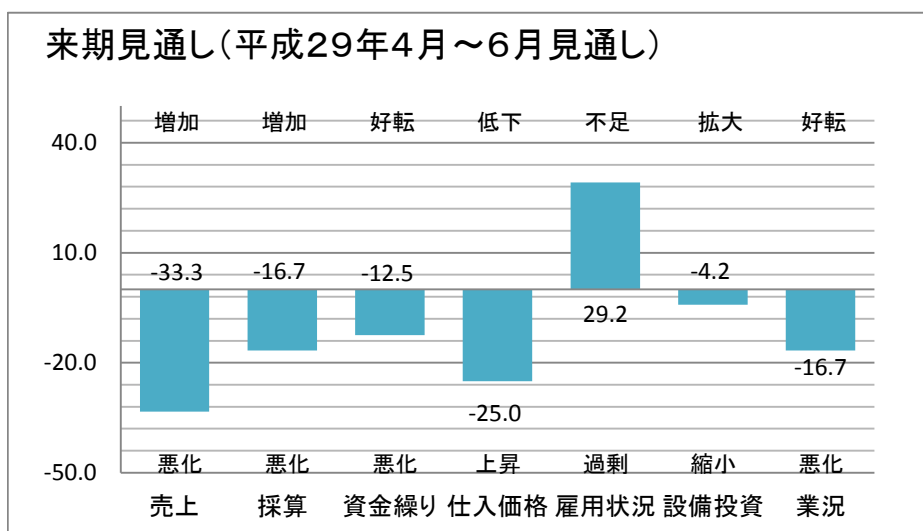
公共工事の受注が増えたと回答した企業が多く、年度末の工事が増えたものとみられる。



前回調査に比べ、仕入価格以外のDI値が好転を示した。特に売上が25ポイント、採算23.3ポイント、22.5ポイントと大きく改善している。

住宅建築工事の増加やオリンピック・熊本地震復興関連工事等の特需により、売上が増加したと回答した企業が複数みられた。

一方で、需要の停滞感を感じている企業もいた。

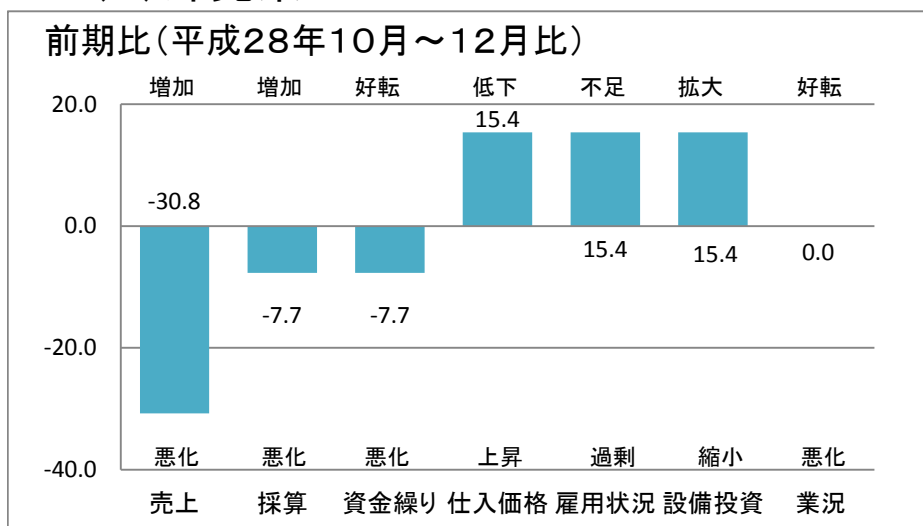


前回調査に比べ、売上・採算・業況がマイナス値を示すなど、大幅に悪化の予想である。

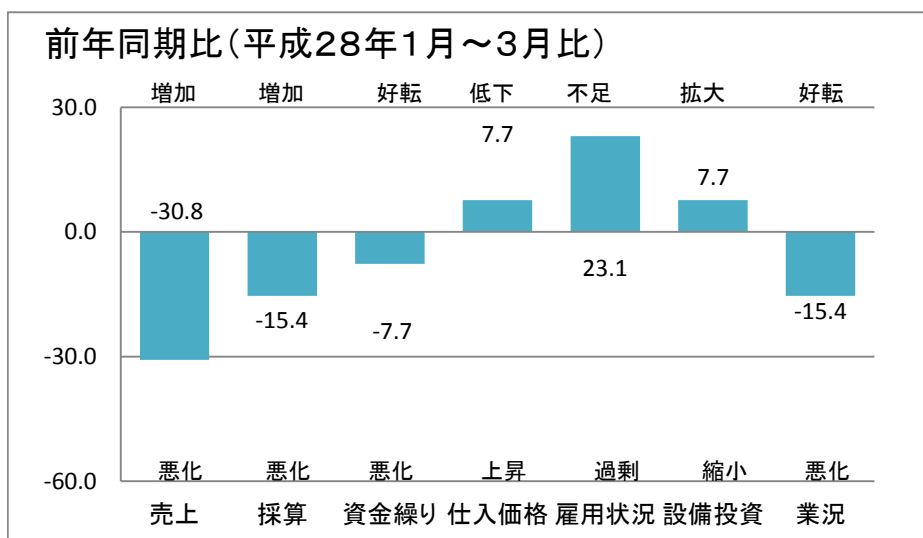
今期(1～3月期)が年度末で工事が増えた反動で、来期(4～6月期)の受注減を懸念していると思われる。

5. 業種別の景気動向

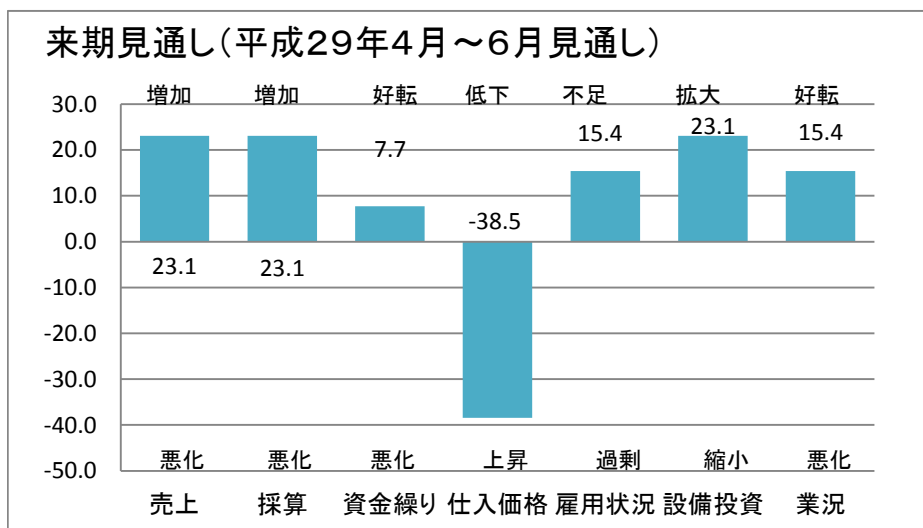
(3) 卸売業



前回調査に比べ、売上、採算、資金繰りDI値がマイナスに転じるなど、大幅に悪化した。「地域内消費の減少」や「大手との価格競争による影響が要因」と回答した企業が多かった。一方、仕入価格、雇用状況、設備投資DI値の改善が見られた。



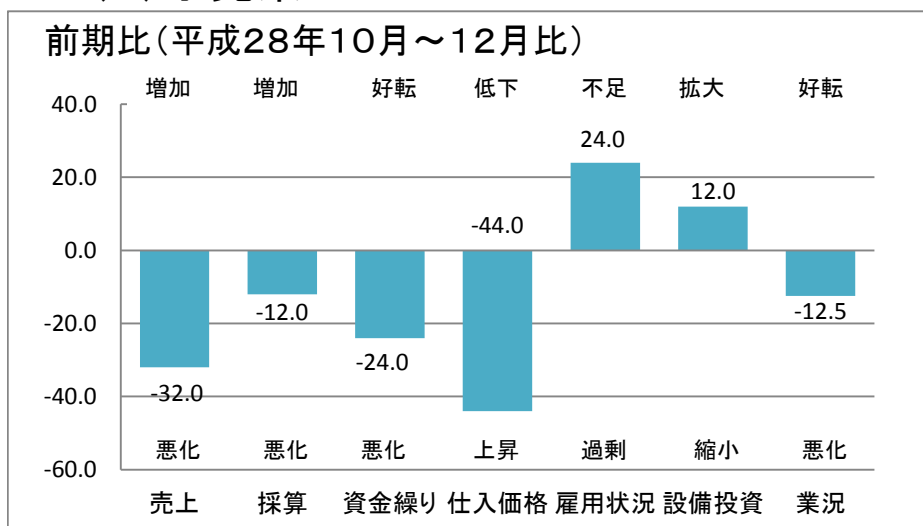
前回調査に比べ、仕入価格、雇用状況、設備投資DI値の好転を示した。一方では、売上・採算・業況DI値がマイナスに転じるなど厳しい状況となっている。人件費や物流費等のコスト増加により、売上だけでなく収益も減少したと回答した企業が複数みられた。



前回調査に比べ、売上・採算・業況が大幅に回復見通しとなっている。法律改正の影響や季節的な需要の増加など、外部要因により好転する見込みがあると回答した企業が複数みられた。

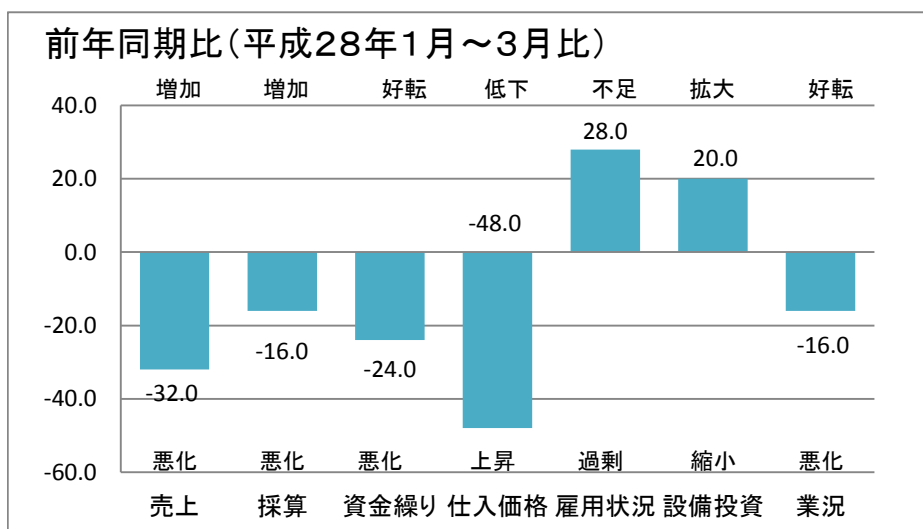
5. 業種別の景気動向

(4) 小売業



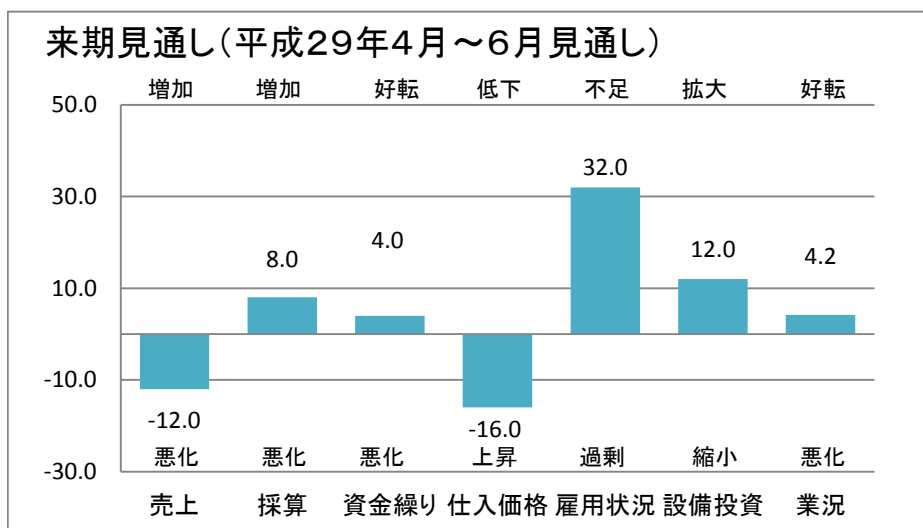
前回調査に比べ、前期比のDIは売上・採算・資金繰り・仕入価格・業況がマイナスに転じるなど、総じて悪化の数値を示した。

要因として、前期(10～12月期)年末商戦の反動と回答した声が多く聞かれた。



前回調査に比べ、売上・採算・業況は数値的には改善しているが、依然としてDI値はマイナスのまま。

仕入値の上昇が収益を圧迫していると回答した企業が多くみられた。また、外的な季節要因によると回答した企業もあった。

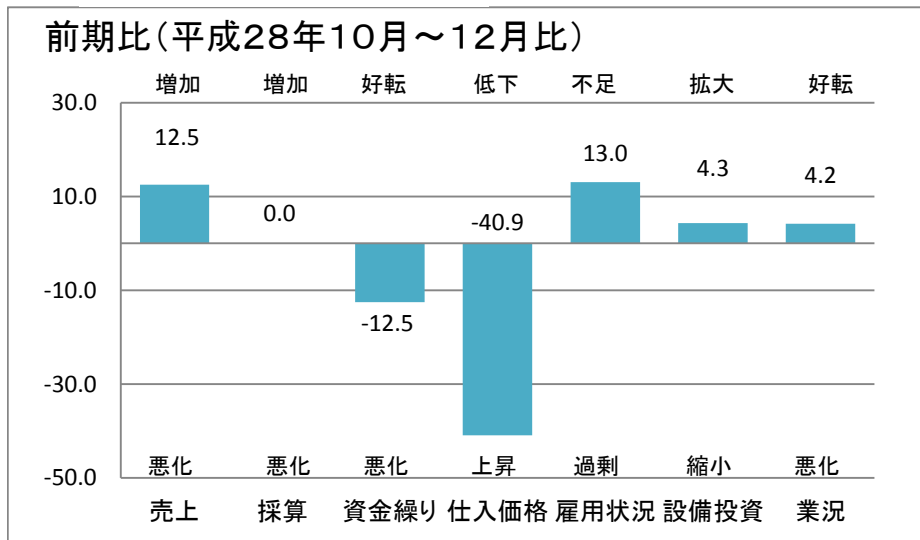


前回調査に比べ、売上・雇用状況以外の数値がプラスに転じるなど、他の項目では回復のイメージをもっている模様。

売上DIがなかなか回復をみせないのは、拡大を続けるインターネットBtoC取引増を懸念する声が聞かれた。

5. 業種別の景気動向

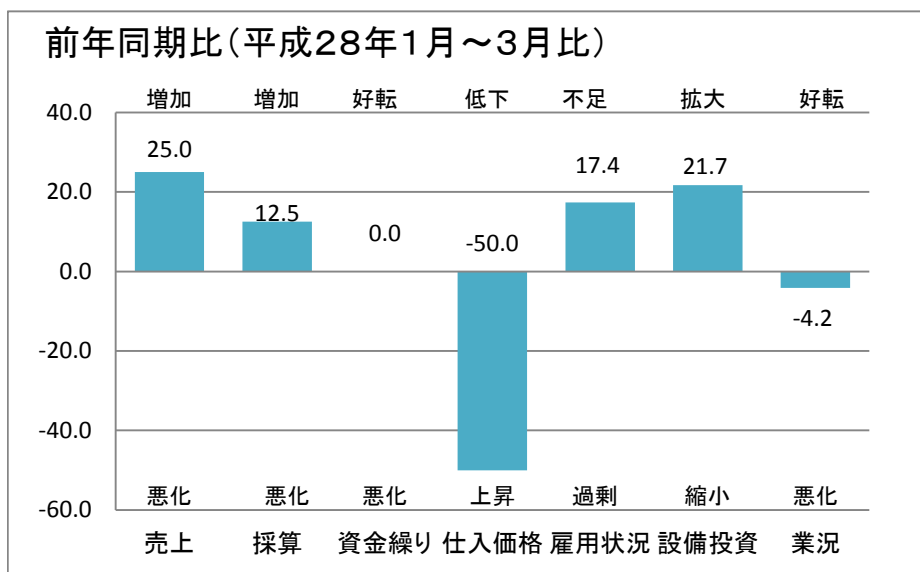
(5) サービス業



売上、雇用状況、設備投資、業況DI値がプラスとなっているものの、前回調査より悪化している。

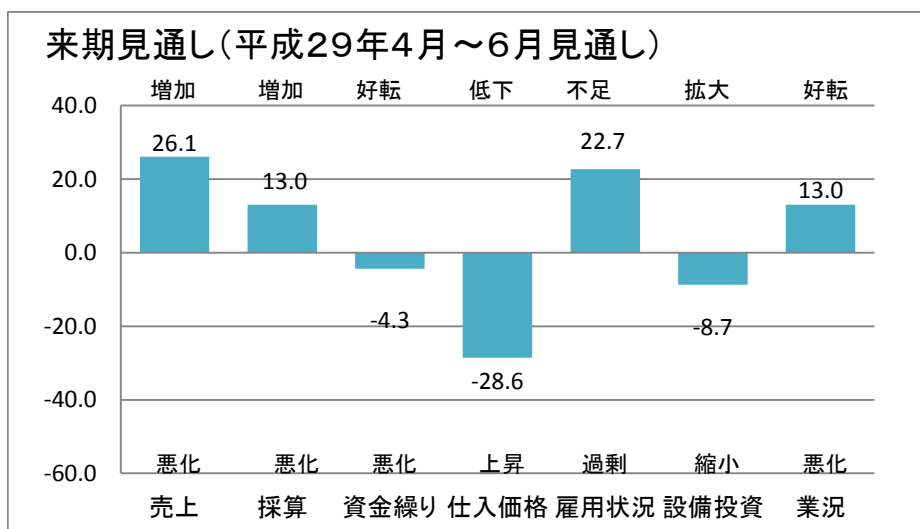
「貨物の増加」や「スポーツキャンプ等の季節的要因」などから、売上DIプラスの要因に上げられる。

一方で、前回調査より悪化したのは、「熊本地震復興特需の終了が影響している」と回答した企業もみられた。



前回調査に比べ、売上・採算・設備投資DI値がプラスに転じた(業況もマイナスながら好転)。要因のひとつとして、「東九州自動車道が開通して1年を経過し徐々に客足が増えている」と回答する企業も。

一方で、仕入価格DI値がマイナスに転じている。

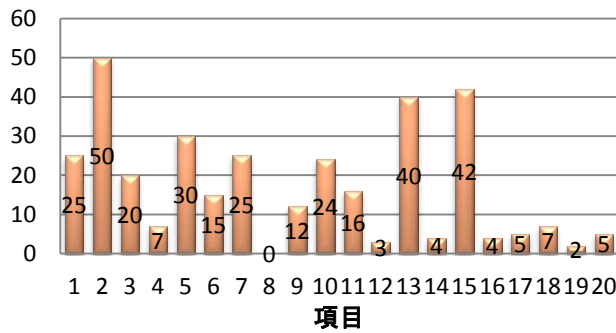


前回調査に比べ、売上・採算・雇用状況・業況DI値が引き続きプラスと好転の見通しとなった。要因として、「取引の増加」や「新事業の稼働」等の回答が聞かれた。

一方で、資金繰り、仕入価格、設備投資のDI値はマイナスで、「需要の減少」等が要因と回答した企業が複数みられた。

6. 経営上の問題点

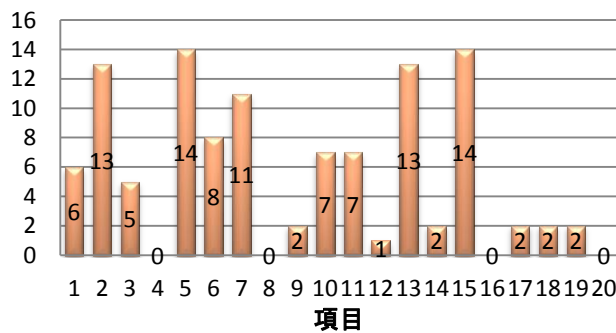
全業種



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 従業員の不足
- 3位 熟練技術者(従業者)の不足
- 4位 生産設備の不足・老朽化
- 5位 県外大手企業の進出による競争の激化

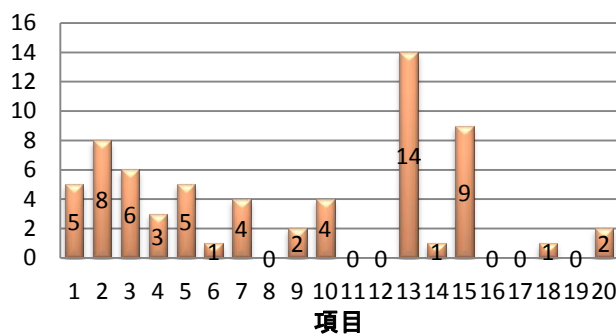
製造業



順位

- 1位 生産設備の不足・老朽化
- 1位 従業員の不足
- 3位 需要の停滞
- 4位 熟練技術者(従業者)の不足
- 4位 原材料(仕入単価)価格の上昇

建設業



順位

- 1位 熟練技術者(従業者)の不足
- 2位 従業員の不足
- 2位 需要の停滞
- 4位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 5位 県外大手企業の進出による競争の激化

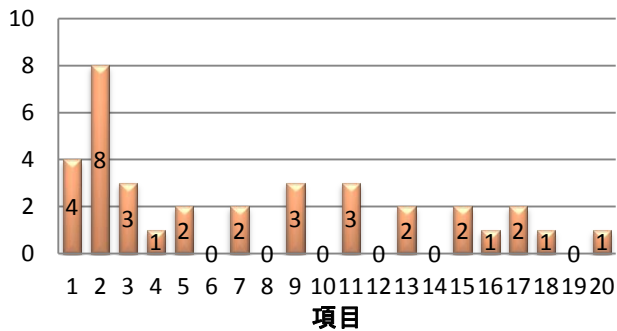
項目一覧

- 1. 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 5. 生産設備の不足
- 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 9. 原材料・人件費以外の経費の増加
- 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 13. 熟練技術者(従業者)の不足
- 15. 従業員の不足
- 17. 商品在庫の過剰
- 19. 円高による海外製品との競争激化

- 2. 需要の停滞
- 4. 新規参入業者の増加
- 6. 製品ニーズの変化
- 8. 生産設備の過剰
- 10. 人件費の増加
- 12. 原材料の不足
- 14. 金利負担の増加
- 16. 事業資金の借入難
- 18. 取引条件の悪化
- 20. 代金回収の悪化

6. 経営上の問題点

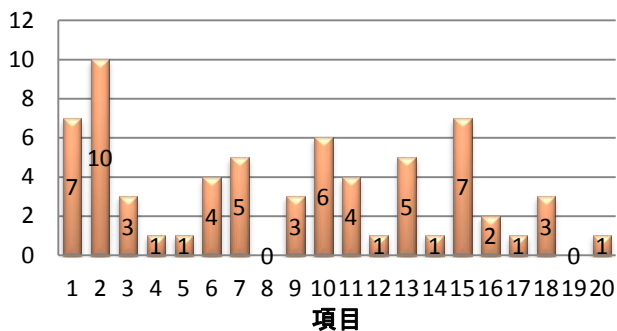
卸売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 4位 原材料・人件費以外の経費の増加
- 5位 製品(販売)単価の低下・上昇難

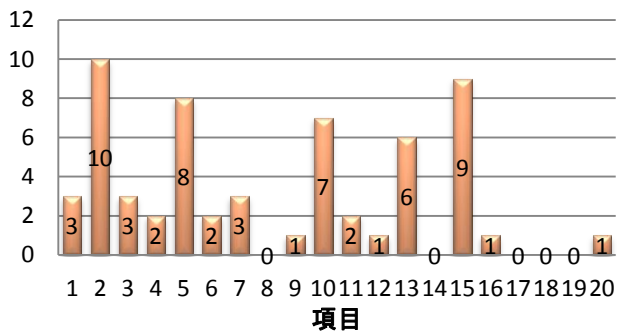
小売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 従業員の不足
- 4位 人件費の増加
- 4位 原材料(仕入単価)価格の上昇

サービス業



順位

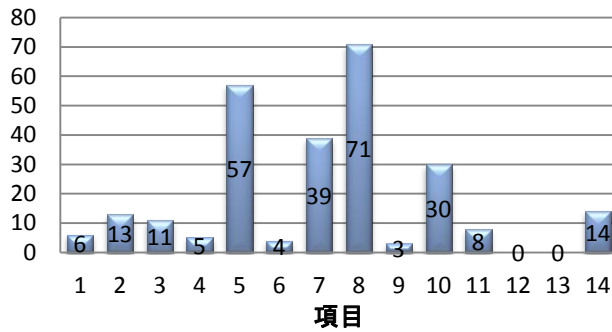
- 1位 需要の停滞
- 2位 従業員の不足
- 3位 生産設備の不足・老朽化
- 4位 人件費の増加
- 5位 熟練技術者(従業者)の不足

項目一覧

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 為替相場による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

7. 今後の対応策

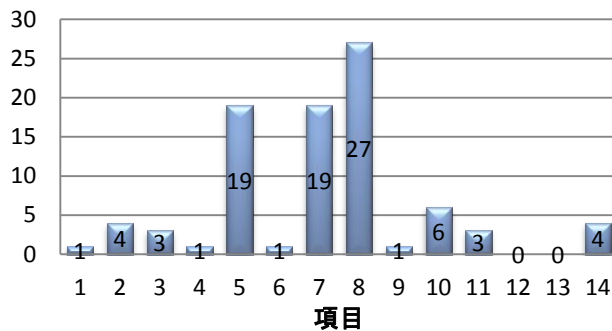
全業種



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 経営の多角化を行いたい
- 5位 その他(例えば:

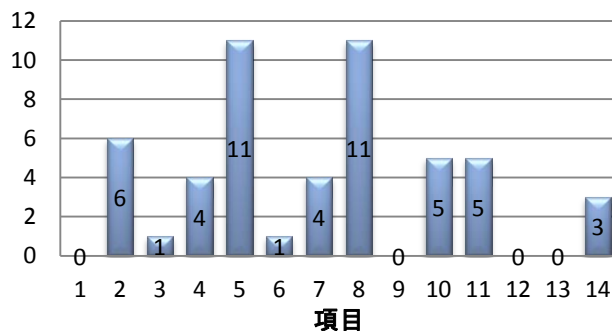
製造業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 経営の多角化を行いたい
- 5位 雇用調整を行いたい(1を除く)

建設業



順位

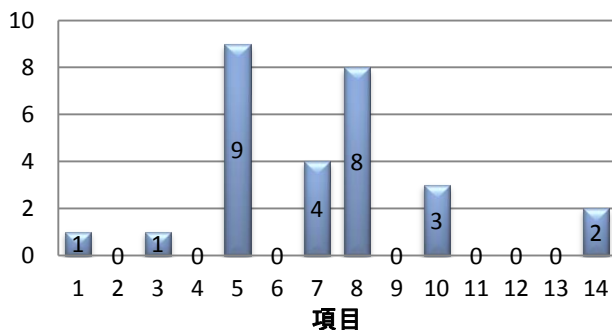
- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 雇用調整を行いたい(1を除く)
- 4位 経営の多角化を行いたい
- 5位 下請発注を減らしたい

項目一覧

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.新規採用を見合わせたい | 2.雇用調整を行いたい(1を除く) |
| 3.人件費を削減したい | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | |
| 6.設備投資を縮小したい | 7.新製品の開発を行いたい |
| 8.新規市場を開拓したい | 9.業種転換を行いたい |
| 10.経営の多角化を行いたい | 11.下請け発注を減らしたい |
| 12.海外へ生産拠点を移したい | 13.海外から原料・部品を調達したい |

7. 今後の対応策

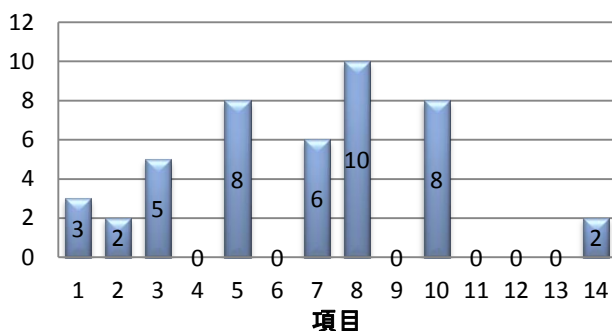
卸売業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 3位 経営の多角化を行いたい
- 5位 その他(例えば:

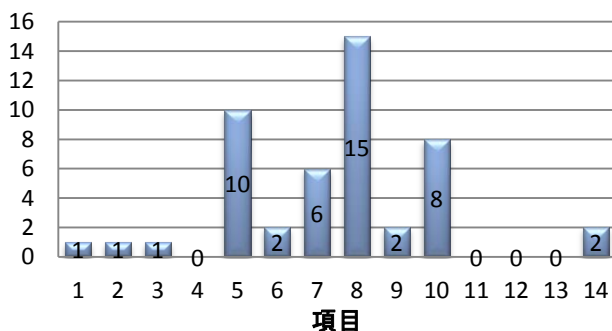
小売業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 経営の多角化を行いたい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 5位 人件費を削減したい

サービス業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 経営の多角化を行いたい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 設備投資を縮小したい

項目一覧

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.新規採用を見合わせたい | 2.雇用調整を行いたい(1を除く) |
| 3.人件費を削減したい | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | |
| 6.設備投資を縮小したい | 7.新製品の開発を行いたい |
| 8.新規市場を開拓したい | 9.業種転換を行いたい |
| 10.経営の多角化を行いたい | 11.下請け発注を減らしたい |
| 12.海外へ生産拠点を移したい | 13.海外から原料・部品を調達したい |

8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
小売業	服飾附属品・手芸	宮崎	地域の活性化のための資金援助を考えてほしい(補助金や助成金の活用の見直しも含めて)
小売業	酒類食料品小売業	宮崎	公共交通機関の充実。20～30代の県内へのI・Uターンの増加、中小企業への支援を望みます。公務員がもっと町に出るようになると自然と一般消費者の動きが良くなると思います。
サービス業	不動産売買・管理	宮崎	宮崎は九州圏からも取り残されつつある気がしませんか？どげんかせんといかん。そう思いませんか？
製造業	自動車用モータ製造	宮崎	宮崎に進出した企業の優位性確立。他県に比べて良いところは何か。
小売業	衣料品・食料品他小売	宮崎	消費が上向きになっているとは受け止められない。消費税引き上げについては、再度慎重に判断願いたい。
製造業	食品添加物製造業	宮崎	求人を出しても応募がない。労働人口減少の中、このままではメーカーは成立しない。労働者確保できる施策が望まれる。
サービス業	ホテル業	宮崎	現在、本県は東南アジアを中心に海外からの観光客が増加している。今後は海外客をどれぐらい取り込めるかが本県経済の大きなカギになると思われる。海外への売り込みや交通の利便性をさらに強化することが急務。

建設業	鉄工全般精密機械	宮崎	企業を誘致することも大切ではありますが、その反面中小企業の人材を賃金を優遇して引き抜かれる心配を各経営者は危惧している
建設業	建築業	串間	個人にて大工を職とする方は多いが、会社に入れるには法定福利費の負担が大きすぎるため、個人の一般住宅を扱うわが社では経費部分に上乗せができず、新規または経験者を雇うことができない。
建設業	電気工事業	高鍋	労働力の不足に伴い、売り上げ減少。早く採用を行いたい。
小売業	食料品小売業	高鍋	商店街の活性化
小売業	記念品販売	小林	国の介護報酬の削減により、事業者は経営悪化を招いている。昨年10月より最低賃金の引き上げにより、より一層経営を圧迫しそうだ。
製造業	建築資材卸	都城	住宅建築促進の為に税制優遇策をお願いしたいと思います。
製造業	製材・チップ	都城	人材不足は深刻であるうえに、現状の社員を確保するために人件費の増加も経営に影響している。
建設業	建設業	都城	都城～志布志間道路の早期開通
建設業	土木建築工事	都城	南海トラフ地震等を踏まえ、災害対策としてのインフラ整備に積極的に取り組んでもらいたい。
サービス業	飲食業	日向	これから業種を問わず人手不足が深刻になると思われる。そのあたりの対策をお願いしたい。
小売業	建築木材製品販売	日向	景気対策として公共工事などあげられるが下請け業者においては締め付けになっている部分がある。元請企業が潤うばかりの事業はどうかと思う。

製造業	屋外広告物製作	日南	日南に将来性はない。早めに市外・県外の外貨を稼ぐことに主眼を置く。「先を見る目」とは何か、今一番に考えるべき。
建設業	土木建設業	日南	東九州自動車道(北郷～日南間)が来年3月にも開通するのに伴い日南インター周辺の開発を積極的に行ってもらいたい
卸売業	酒卸	日南	人口10万人以下の地域に大型店や大手安売り店の出店を規制する。今からでは遅過ぎるが、地域経済のことを考えれば、そうしないといけないのでは。地域でお金が回るシステムを構築することができればいいのですが・・・
卸売業	青果卸	日南	高齢者の年金支給額減額の話、介護保険料等の負担増などで購買意欲がわからないのが需要低迷に陥っている。
小売業	石油製品販売	日南	人口減少を食い止めてほしい。若者の雇用の場を増やしてほしい
製造業	婦人服製造小売	日南	天気的不安定により季節商なので販売が上がらない。それに対応した借入金の指導等
サービス業	建築設計	日南	誘致企業について補助金や減税等につられてくるより地元企業が1名ずつ新規採用すれば何百人と雇用が生まれると思います。IT企業ばかりに若い人が就職するとは限りません。今月から当社のような会社でも愛知県からIターン(奥さんが日南出身)で勤めてくれた。
小売業	焼酎小売	日南	来店客数とインターネット販売の新規顧客を増す為に何をすべきか考えていますが、なかなか上手くいきません。アドバイスがあったらおしえてほしい。
サービス業	飲食業	日南	今のところ特になし。精一杯商売するのみ